

全国学力・学習状況調査の結果に基づく指導方法等の改善計画

広島市立船越小学校

全国学力・学習状況調査 正答率

〔A：主として知識〕〔B：主として活用〕

	国語A	国語B	算数A	算数B
学 校 (%)	72.2	48.3	78.6	54.0
広島市 (%)	71.9	53.2	80.7	57.1
広島県 (%)	72.9	53.8	81.3	56.6

	主な課題	要 因
国 語	言語事項領域は平均を上回っている反面、話すこと・聞くことの領域と読むことの領域が劣っている。 短答式で答える力が上回っている反面、記述式での答え方が苦手である。	授業の中でも、読み取ったこと・聞き取ったことを表現する際、論理的に答えづらい傾向にある。苦手意識が高い。 授業での書く場面、自分の考えを表現する場の不足。
	<課題解決に向けた国語科における具体的実践>	
	記述式で答えられる力をつけるため、授業の中でノートに自分の考えを書く場面を増やす。 言語事項は一定の力をつけている点を生かし、それを活用した授業を工夫していく。 お互いの考えを言い合う場、聞き合う場を数多く設定することで、学力低位の児童も、まねをしながら少しずつ自分の考えを表現できるようにする。	

	主な課題	要 因
算 数	文章問題等、基礎知識を活用する問題を解く力が劣っている。 複数の計算が混じった計算問題を解く力が劣っている。	基礎知識を使って問題を解くところに慣れていない。 一つずつ問題を整理しながら考えていく力が不足している。
	<課題解決に向けた算数科における具体的実践>	
	授業の中や家庭学習の場で、持っている知識を活用し、応用問題を解く場を設定する。 帯時間等の活用による、基礎的知識の習得の徹底を図る。(特に、複数の計算の混じったもの) 子どもたちの多様な意見、多様な解き方を引き出す授業づくりを進める。	

学力向上へ向けた全校的な取組（課題解決に向けた具体的実践）

校内の授業研究，学年ブロックの授業研究を通して，子どもが考えようとする，また思考が深まる発問の工夫を行う。

説明文を中心とした論理的思考力の育成を図る。

授業中に多くの発表の場をつくるようにする。その際，事前に考えをノートに書いたり，ペアやグループの活動を取り入れたりして，書くことや表現することへの抵抗感をなくしていく工夫をする。